

わくわく 本だな



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年
★★ = 3・4年
★★★ = 5・6年

『いえのなかのかみさま』(えほん)

もとしたいづみ/文 早川純子/絵 光村教育図書



ともきは、しんせきのいえにあそびにきてびっくり。ちやのまやだいどころ、いえじゅうにかみさまがいるというのです。

『なんでもあらう』(えほん)

鎌田歩/作 福音館書店



まちには、あらうものがいっぱい
です。道路やビル、電車やひこう
きは、どんなふうにあらうの
かな？

『こぶたのぼうくん』★

小沢正/作 井上洋介/絵 鈴木出版

おふろがきれいなぼうくん。
まるはだかでのげ出し、たどり
ついたところは、なんとおおか
みのおふろばでした。



『わたしちゃん』★★

石井睦美/作 平澤朋子/絵 小峰書店

まりは、新しい町にひっこして
ひとりぼっち。ある日、ふしぎな
おんなのこに出会います。なまえ
は「わたし」ちゃんといいます。



『ぼくのマルコは大リーガー』★★★

小林しげる/作 末崎茂樹/絵 文研出版



やきゅう しあい
野球の試合に出た犬のマルコ。
ライトを守り、ボールをみごとに
キャッチ！もしかして天才野球
犬？

『町家えほん』(ちしきの本)

山口珠瑛/作・絵 PHP研究所



町家って知ってる？京都に多
い、細長い家です。福ねこさん
が案内する町家のすみずみ、い
っしょいのぞいてみませんか。



あたらしく
はいった本

『じゅんばんこ!』(えほん)

季巳明代/作 はせがわかこ/絵 フレーベル館



ひとりでねるれんしゅうをはじめた、さくらこちゃん。だいすきなぬいぐるみたちがいっしょなら、こわくなんてありません。

『ダンゴムシだんごろう』★

みおちづる/作 山村浩二/絵 鈴木出版

おっかさんやおとうとたちに、おなかいっぱい食べさせたい! だんごろうは、ダンゴムシ天国をさがすたびにでることにしました。



『ガリばあとなぞの石』★★★

たからしげる/作 かとうくみこ/絵 文溪堂



誠大のお父さんが、なぞの石をさがすうち行方不明に。親せきの「ガリばあ」にあずけられるが、とっても変なおばさんだった!

『草と木で包む』(ちしきの本)

U. G. サトー/文と絵 福音館書店

日本には、昔から草や木を使って、食べものを包む文化があります。富山に伝わる「ますの押しずし」もそのひとつです。



『てんぐのがっこう』(えほん)

やぎたみこ/作 文溪堂

インコのとんちゃん、とってもおもしろい。てんぐのがっこうのせいとになって、まちのパトロールにだいかつやく!



『白い自転車、おいかけて』★

松井ラフ/作 狩野富貴子/絵 PHP 研究所



おねえちゃんが自転車を買って、もらってからは、ゆかはおいてけぼりにされてばかり。自転車のかぎなんてかくしちゃえ。

『怪獣イビキングをやっつけろ!』★★

岡田依世子/作 板垣トオル/絵 国土社

千奈子のパパは、いびきがすごい。怪獣イビキングが、パパの体をのっとりしているのだ。どうしたら助けられる?



『さよなら宇宙人』★★★

高科正信/作 荒井良二/絵 フレーベル館



陽子たちのクラスに、ふしぎな転校生がやってきました。アルファ星から地球の調査にきたと言っているけど、本当かな?

『ニワシドリのひみつ 庭師鳥は芸術家』

(ちしきの本) 鈴木まもる/文・絵 岩崎書店

ニワシドリには、巣とはべつに「あずまや」というものを作る習性があります。何のために作るのでしょうか。



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね! としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273